

atect

# 決算説明資料

2009年3月期第2四半期

atect

**JASDAQ**  
*Listed Company 4241*

2008年11月  
株式会社アテクト

**第1部 2009年3月期 上半期概要**

**P3**

**第2部 2009年3月期 通期予想**

**P16**

**配当政策**

**P19**

**第3部 参考資料**

**P20**

**中期計画数値目標**

**P21**

**IRカレンダー**

**P24**

# 第1部

atect

2009年3月期 上半期概要

## [連結]

売上高----上半期累計【21億2,098万円】

前年同期比 125.4%

- ① 新興国を含めた急激な世界的需要の減退による計画未達
- ② 連結子会社化した(株)ダイプラの液晶ディスプレイ用ガラス搬送設備の部品等の売上高追加

経常利益---上半期累計【8,475万円】

前年同期比 79.3%

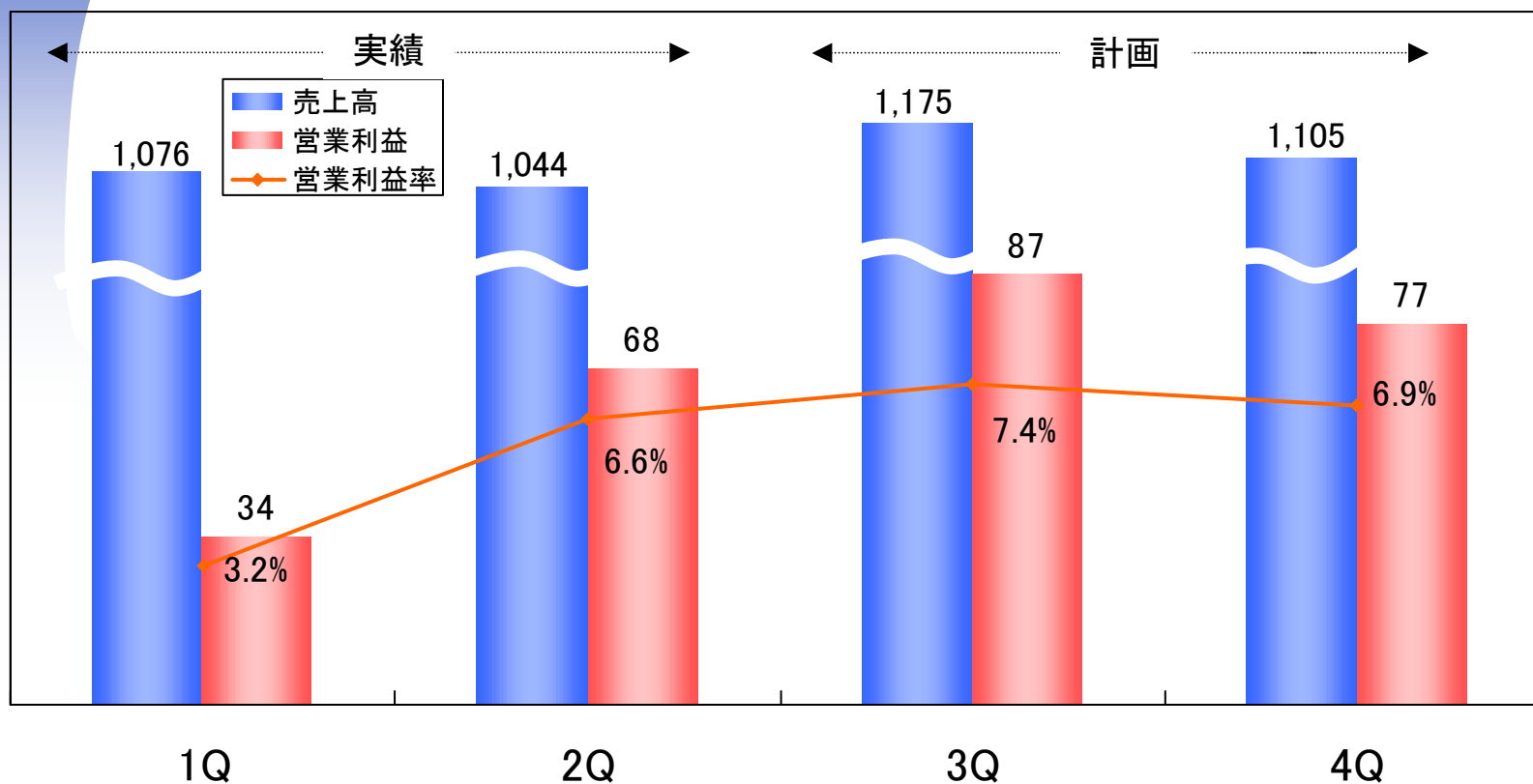
- ① 2008年に子会社化したトライアル(株)と(株)ダイプラののれん償却
- ② アテクトコリア立ち上げに伴い採用した人員の人件費増加
- ③ 設備投資による減価償却費の増加
- ④ ジェネシス・テクノロジー(株)の民事再生申立による、貸倒引当金積み増し

(単位:百万円)

	08年3月期 上半期累計	09年3月期 上半期累計	前期比	通期予算 進捗率
売上高	1,692	2,120	+25.4%	47.1%
売上総利益	530	633	+19.1%	45.0%
(粗利益率)	(31.4%)	(29.9%)		
(販管費比率)	(24.5%)	(25.0%)		
営業利益	116	103	-12.1%	32.8%
(営業利益率)	(6.9%)	(4.9%)		
経常利益	106	84	-20.7%	29.7%
(経常利益率)	(6.3%)	(4.0%)		
純利益	54	5	-89.5%	3.8%

営業利益率: アテクトコアの本格稼働、プラスチック造形事業の価格見直し、9月末に開始したトライアルの3Dシステムズ社向け出荷等により、第2Qで改善傾向。

(単位:百万円)



(単位:百万円)

	08年3月期 第2四半期末 (連結)	構成比 %	09年3月期 第2四半期末 (連結)	構成比 %	前年同期比 %
<b>流動資産</b>	1,641	42.5	1,750	39.8	1.1
現金及び預金	518		403		
受取手形、売掛金	680		818		
たな卸資産	373		475		
その他	69		53		
<b>固定資産</b>	2,216	57.5	2,648	60.2	1.2
有形固定資産	2,026		2,266		
無形固定資産	40		221		
投資その他の資産	149		160		
<b>資産合計</b>	3,858	100.0	4,399	100.0	1.1
<b>流動負債</b>	1,591	41.2	1,971	44.8	1.2
支払手形、買掛金	639		536		
借入金、社債	680		1,100		
その他	271		333		
<b>固定負債</b>	281	7.3	480	11.0	1.7
借入金、社債	261		401		
その他	19		79		
<b>負債合計</b>	1,873	48.5	2,451	55.7	1.3
<b>株主資本</b>	1,998	51.8	2,056	46.8	1.0
資本金	729		729		
資本剰余金	649		649		
利益剰余金	718		777		
自己株式	△ 99		△ 99		
<b>評価・換算差額等</b>	△ 12	-0.3	△ 113	-2.6	-
為替換算調整勘定			△ 113		
<b>純資産合計</b>	1,985	51.5	1,947	44.3	1.0
<b>負債純資産合計</b>	3,858	100.0	4,399	100.0	1.1
<b>有利子負債</b>	941		1,502		1.6

・トライアル及び、  
ダイプラの子会  
社化による影響

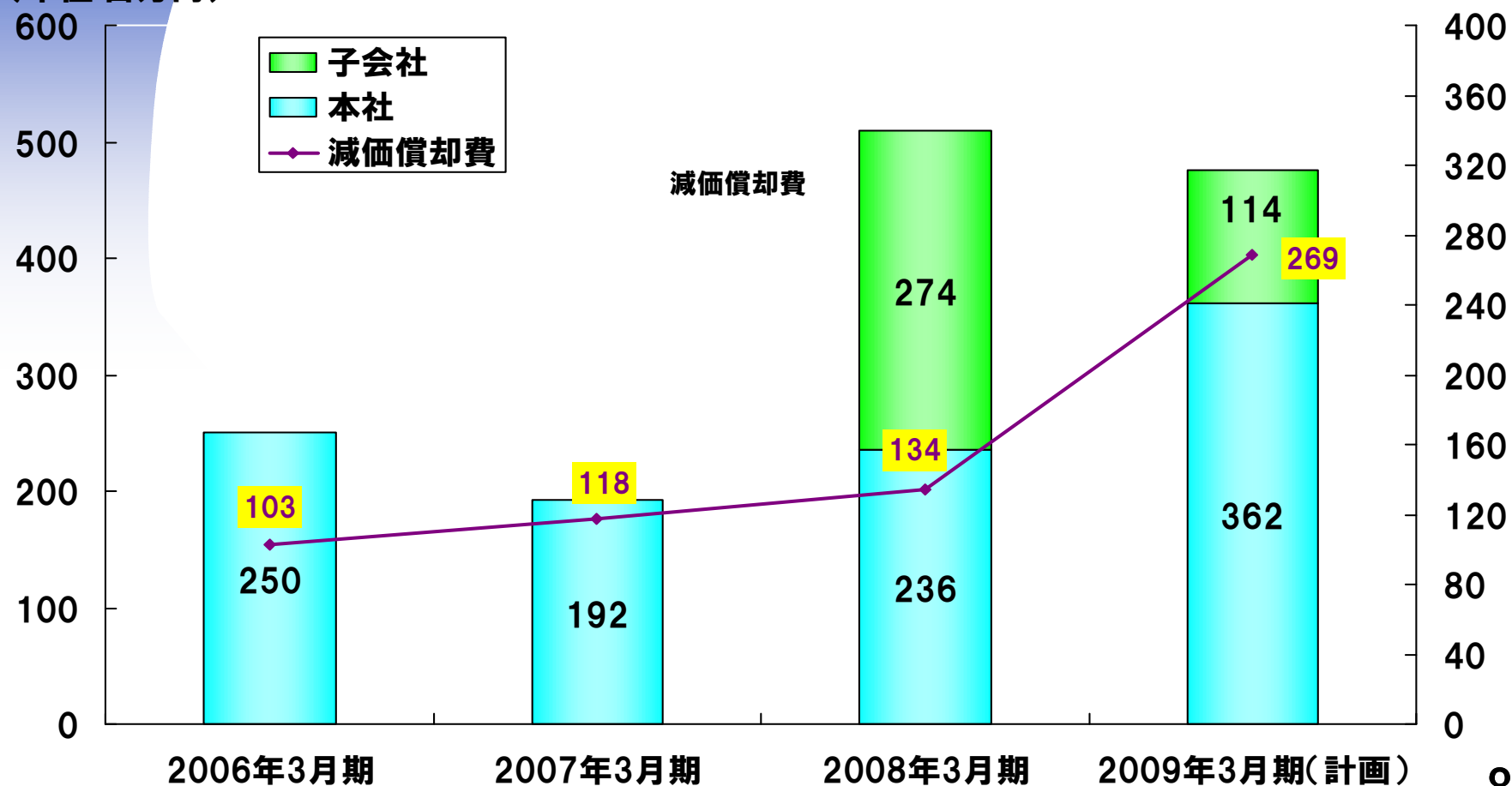
・のれんの増加

・建物や機械等  
の「有形固定資  
産」増加

・子会社化及び  
それに伴う運転  
資金のため「借  
入金」増加

- ・ 本社 → スペーサーテープ洗浄設備、シャーレ成形設備、金型製造設備
- ・ 子会社 → ダイブラ3次元造型機、アテクトコア機械設備

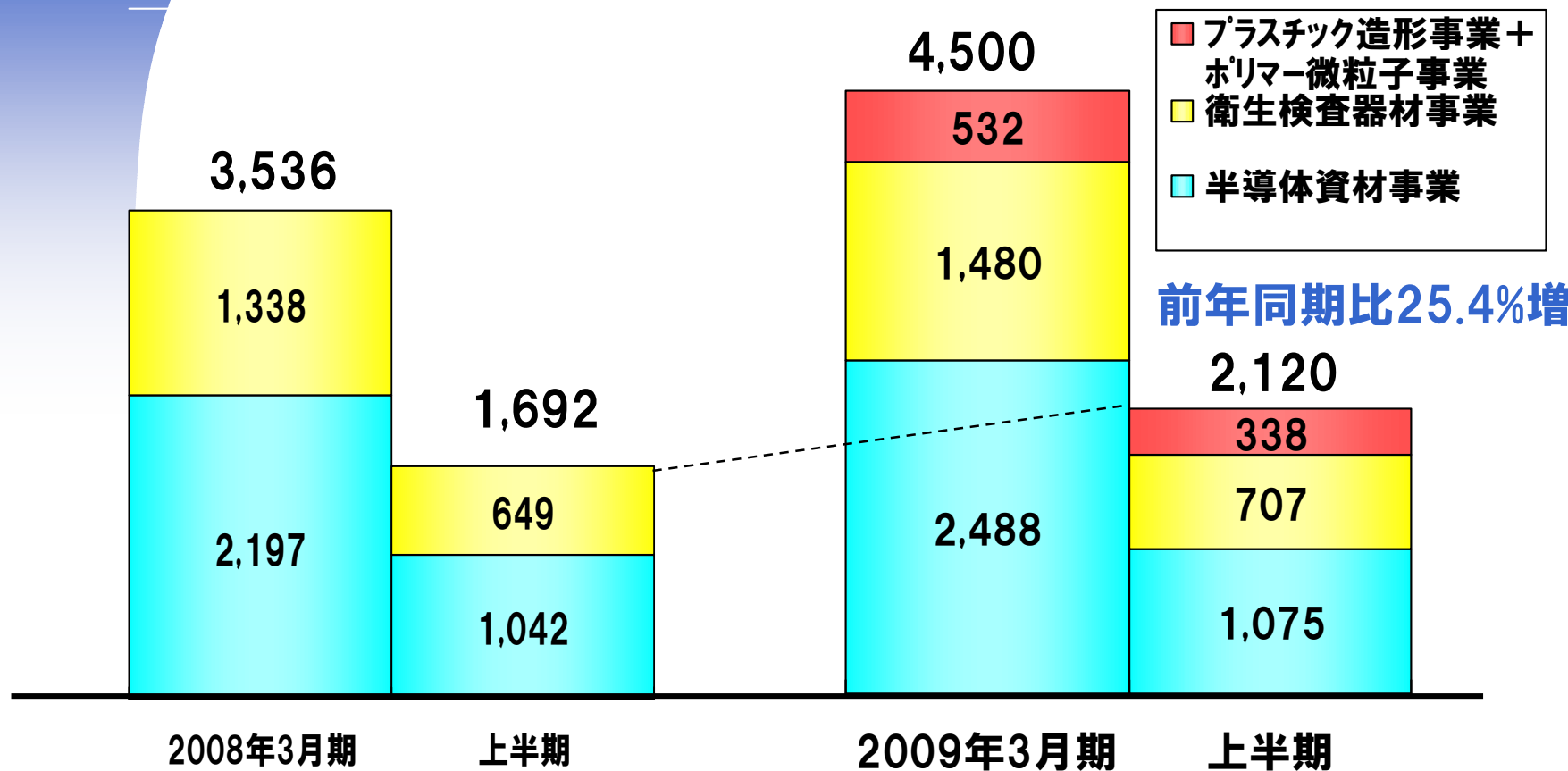
(単位:百万円)





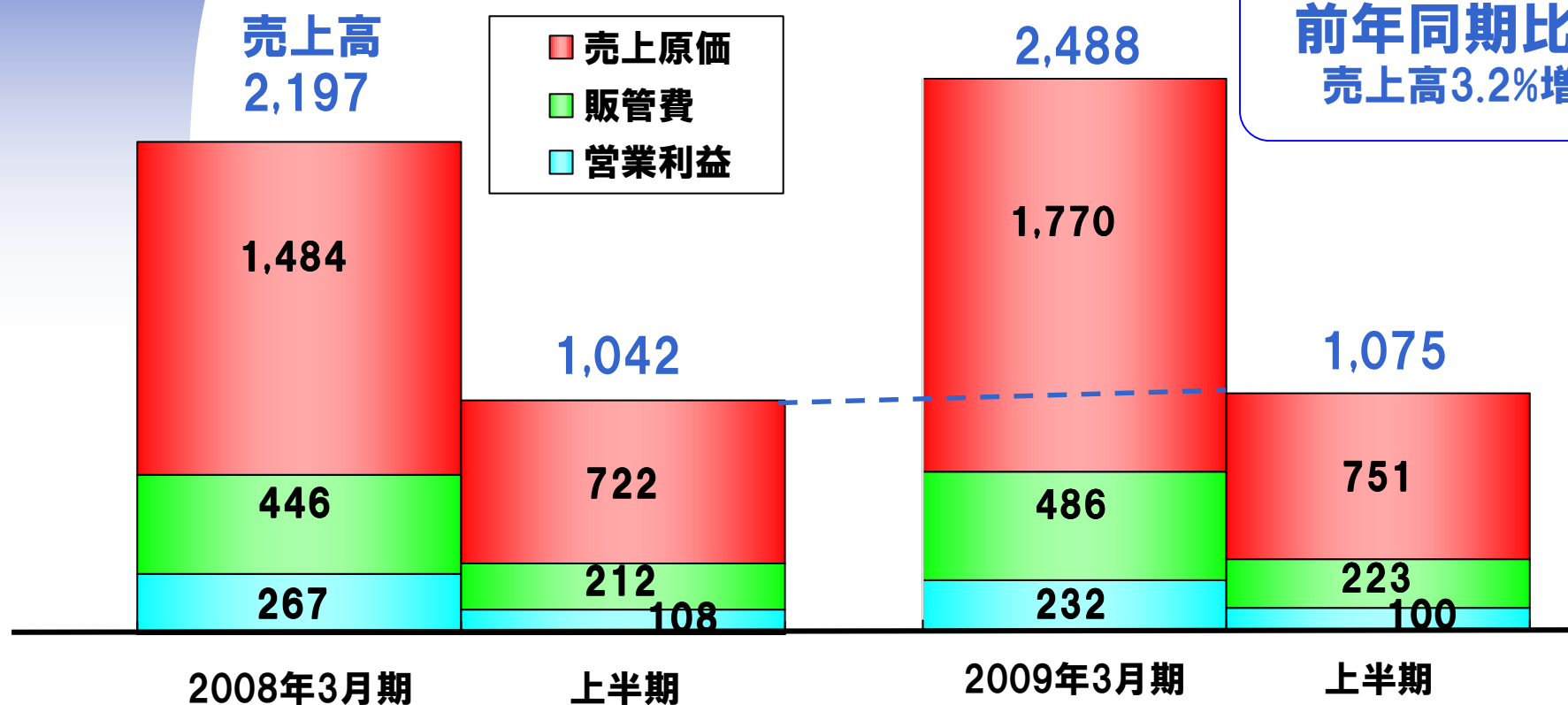
液晶パネルの在庫増加により半導体資材の売上が鈍ったものの、ダイプラのプラスチック成形事業の売上等が加わる

(単位:百万円)

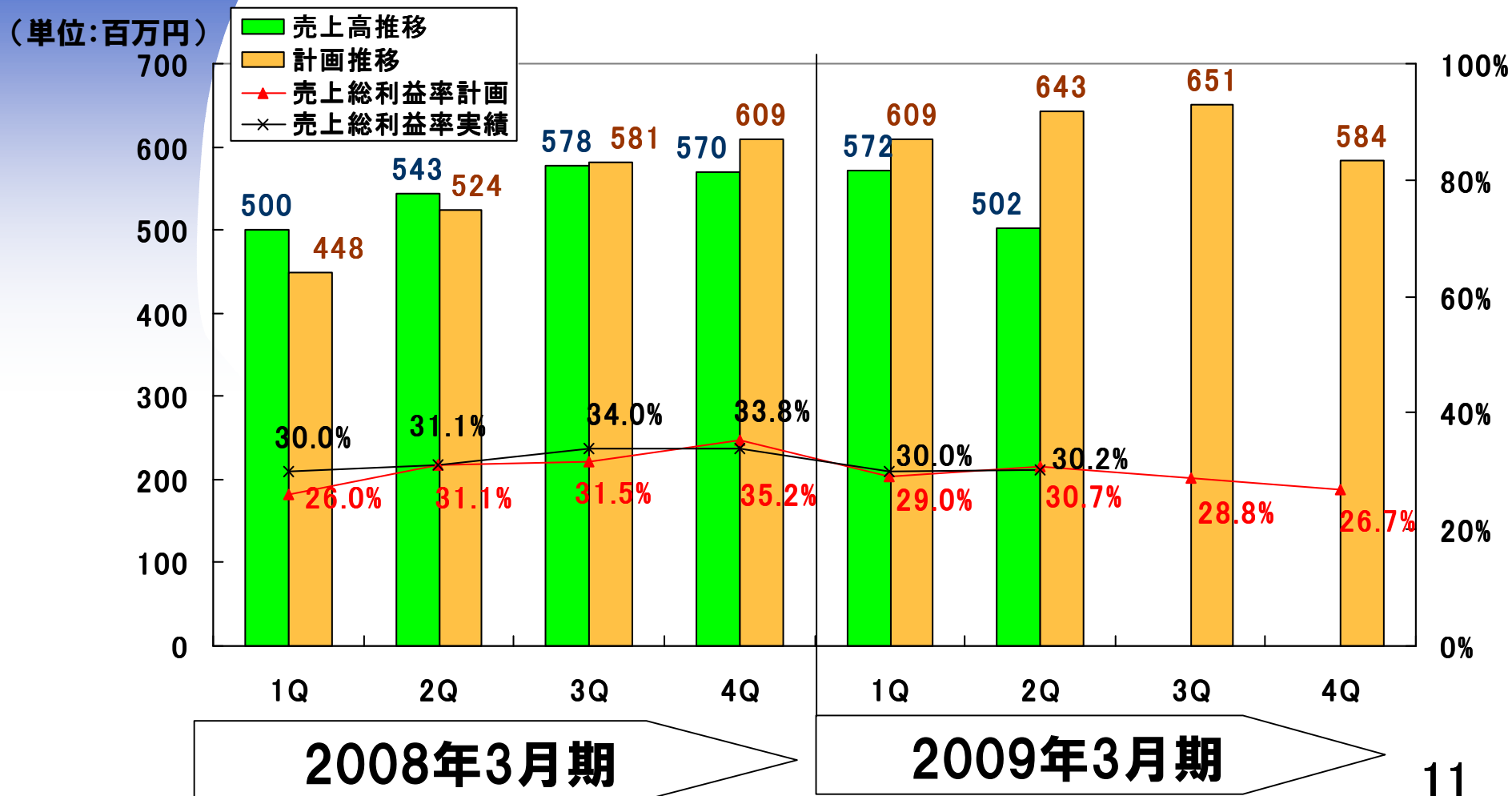


アテクト코리아稼働開始。第2四半期、パネルの在庫増により受注が鈍化

(単位:百万円)

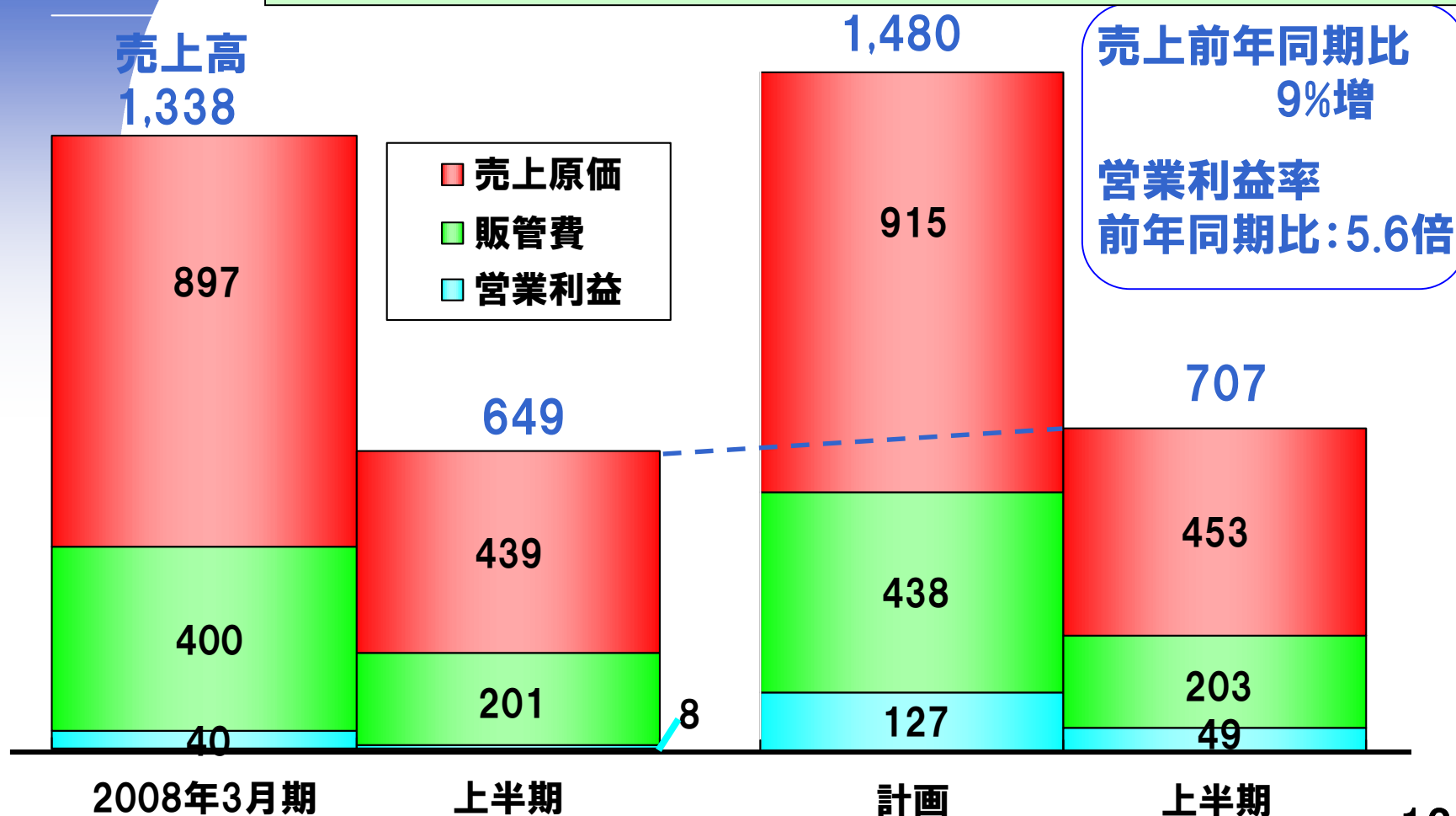


新興国を含めた急激な世界的需要の減退による液晶パネルの在庫調整のため  
第2四半期に売上高減少



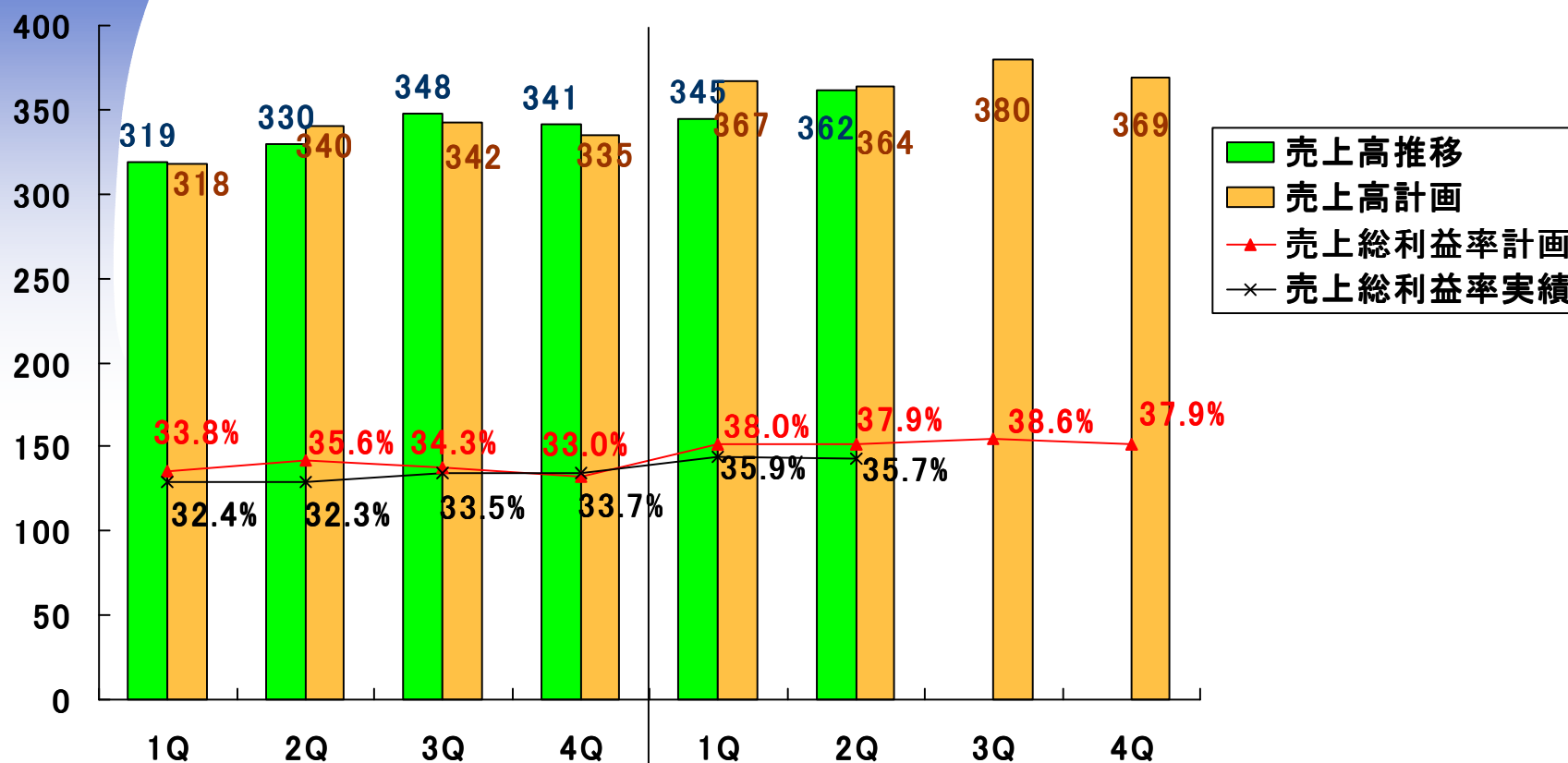
(単位:百万円)

原材料価格高騰が響くも、新規顧客の獲得、一部販売価格の見直し等により堅調を維持



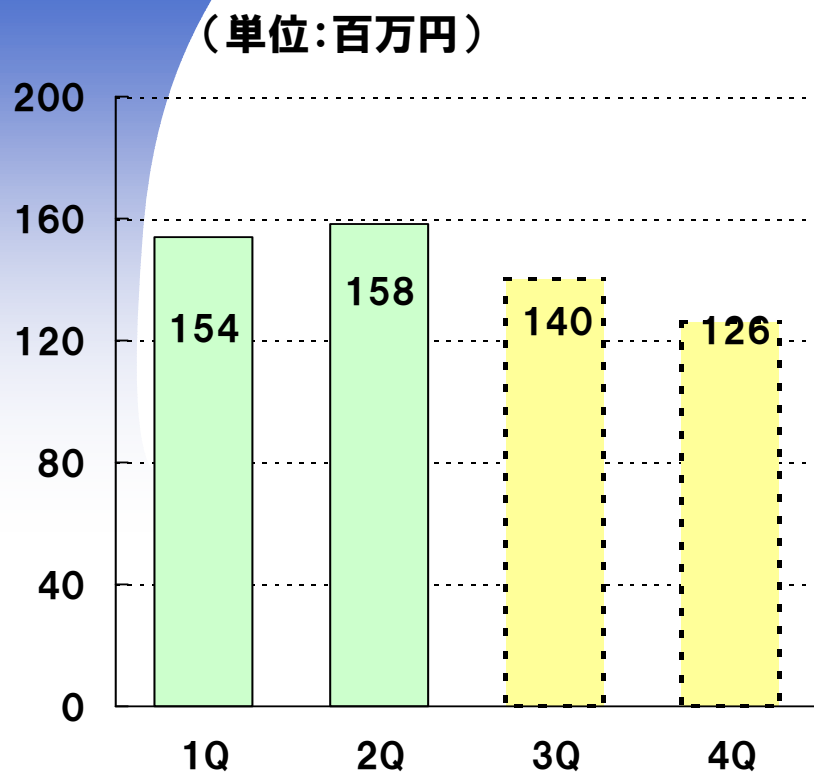
シェア売上高が好調に推移し、前年同期(上半期)比9%増収

(単位:百万円)



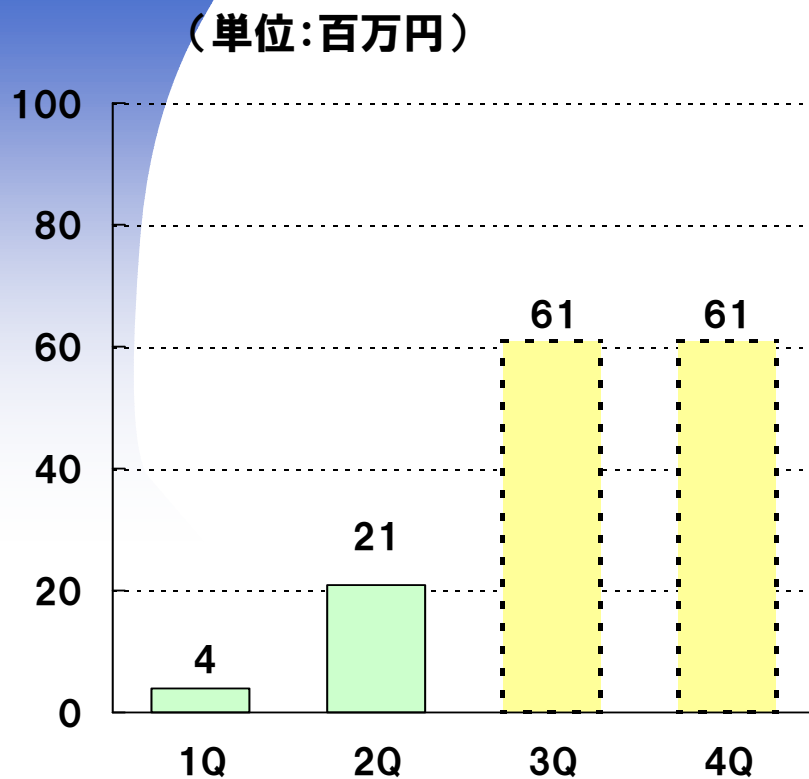
2008年3月期

2009年3月期



2009年3月期

- 順調に推移  
⇒顧客毎の利益構造見直し、  
利益率の高いユーザーへの  
大幅なシフト  
⇒販売価格見直し  
⇒積層造形事業出荷開始
- 金型部門のアテクトへの移籍に  
よる一元化と効率化  
⇒拠点統廃合の一部完了



2009年3月期

- 積層造形材料を米3Dシステムズ社へ  
9月30日に初出荷
- ポリプロピレンに続く材料開発
- 工場の増産体制構築  
⇒ 人員増強等
- 本社を埼玉県北本市に移転・統合、  
事業所を集中、開発・生産を効率化

## 第2部

atect

# 2009年3月期 通期予想

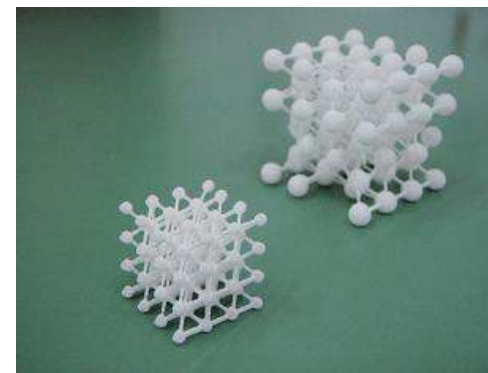


1. 半導体資材事業
  - (1)アテクトコアの生産・出荷体制構築完了
  - (2)湿式洗浄装置の設置が完了し、清浄度の高い製品に対し韓国内客先からの指定を受ける
2. 衛生検査器材事業
  - (1)材料高騰に対応する生産性向上投資
  - (2)水質検査用試薬(コリターグ)の大幅伸長
  - (3)新規顧客獲得の継続(9月末現在9600社)
3. プラスチック造形事業
  - (1)客先ごとの利益率の見直し→利益率改善
  - (2)金型部門の統合
  - (3)営業利益黒字化
4. ポリマー微粒子事業
  - (1)粉末積層造形用途
    - ①自動車メーカーからの新規材料問い合わせ
    - ②樹脂材料メーカーとの共同開発案件
  - (2)トナー用キャリア
  - (3)塗料用途
5. 研究開発
  - (1)人工培養肝細胞による薬剤スクリーニング系
  - (2)微生物増殖
6. 労働者派遣法に対応し、直接雇用化検討

以上の取り組み等により通期見通し当初計画どおり。

- プロトタイプからリアルパーツへ
- パーソナライズ
- コンシューマプロダクツ

長年培った高い技術力を背景に  
新規顧客との取引開始



**2008年3月期の配当を実施  
一株あたり20円(2008年6月27日)  
\*分割後10円**

**今後の配当政策を引き続き検討**

# 第3部

atect

参 考

(単位:百万円)

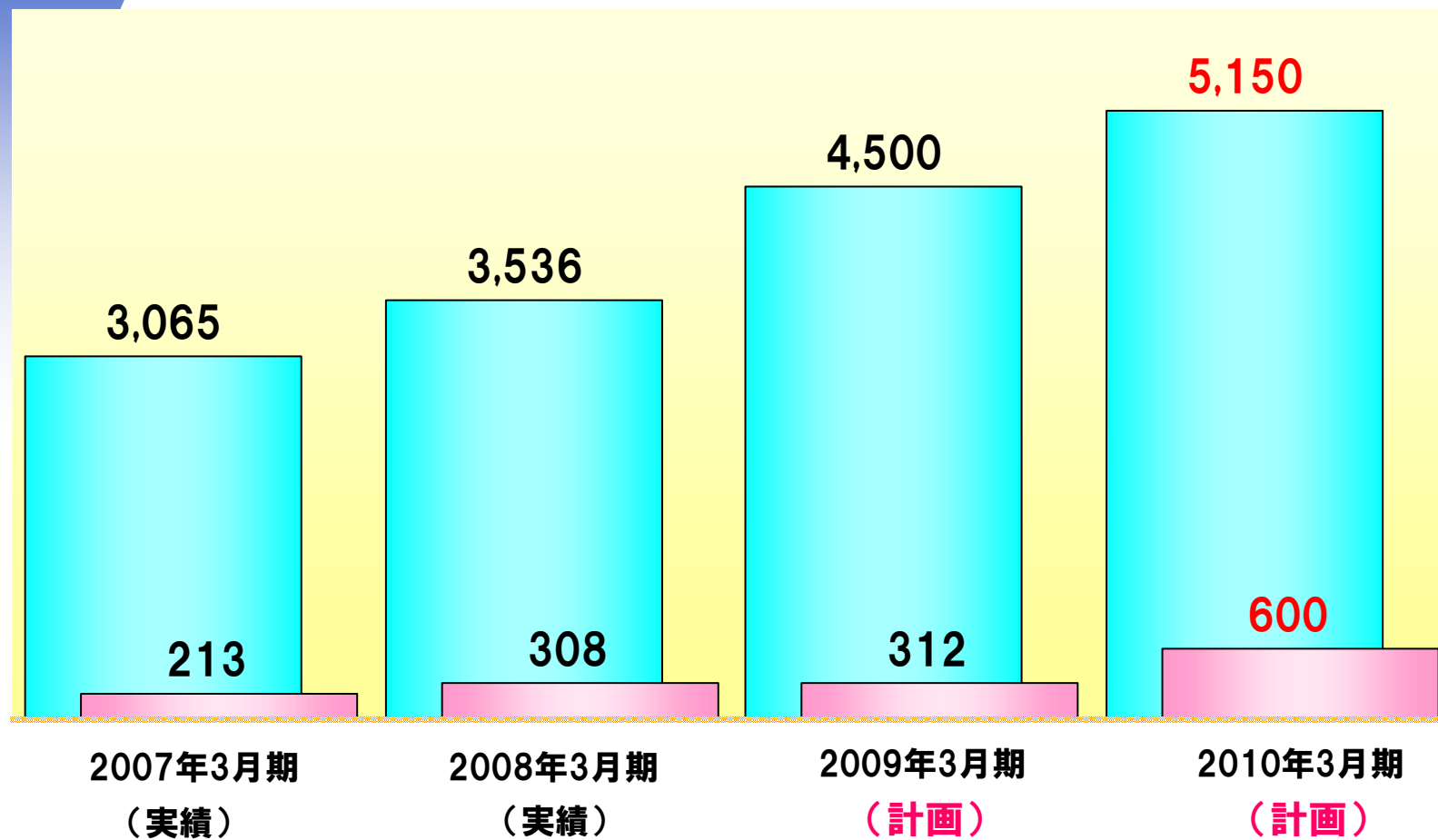
	2008年3月期 (実績)	2010年3月期 (計画)	年平均 伸び率
売上高	3,536	5,150	20.7%
営業利益 (営業利益率)	308 (8.7%)	600 (11.7%)	39.6%
経常利益 (経常利益率)	270 (7.6%)	554 (10.8%)	43.2%
ROA (総資産当期純利益率)	※ 5.5%	5.1%	—
研究開発費売上 高比率	2.1%	5.0%	—

※単体数値

■ 売上高

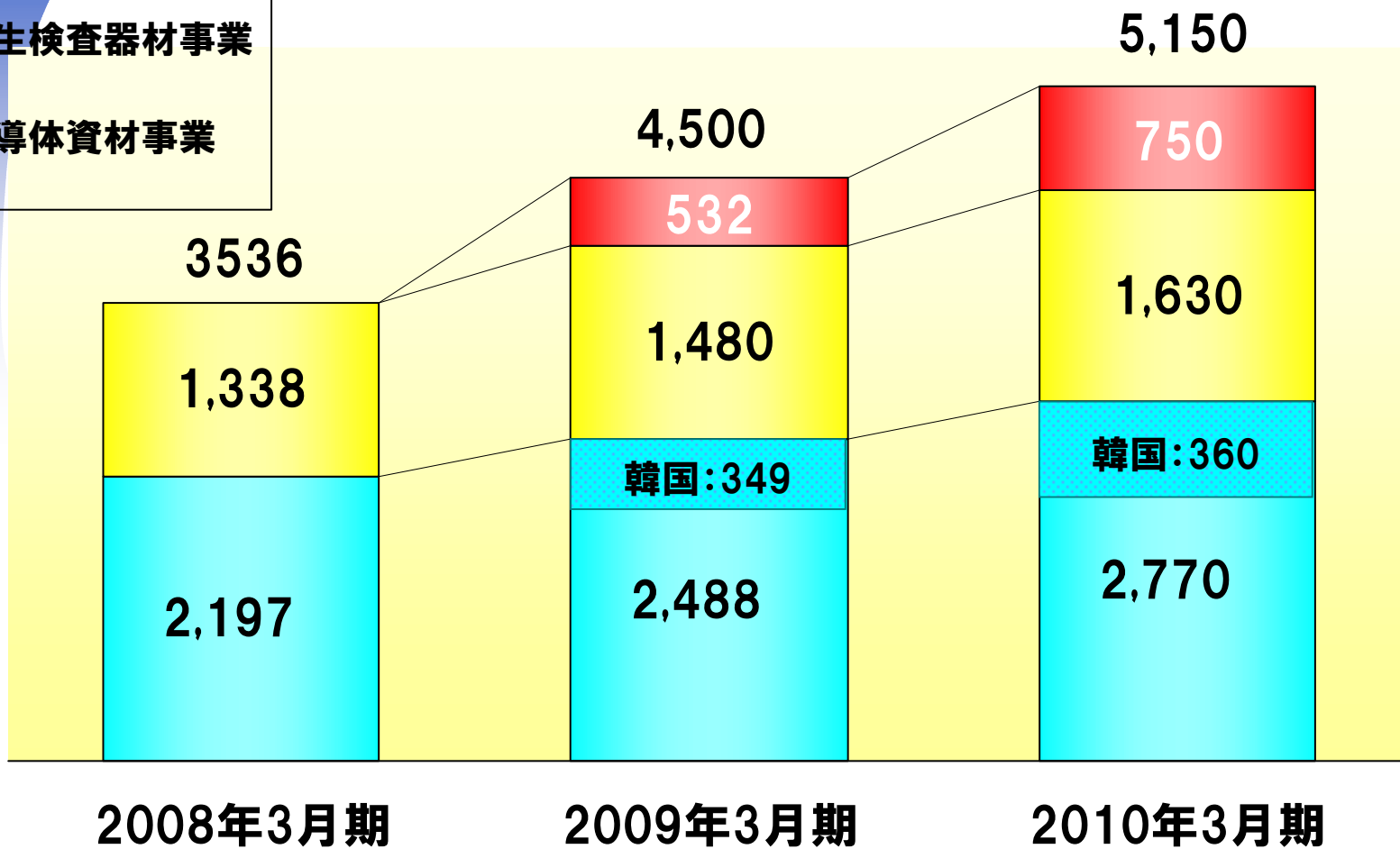
■ 営業利益

(単位:百万円)



(単位:百万円)

- ポリマー微粒子事業  
+積層造形事業
- 衛生検査器材事業
- 半導体資材事業



年月日	IRイベント	場所	
2008年4月30日	2008年3月期期末業績開示		済
2008年5月2日	2008年3月期期末決算説明会	東京	済
2008年6月26日	株主総会	ヒルトン大阪	済
2008年7月31日	2009年3月期第1四半期業績開示		済
2008年8月1日	2009年3月期第1四半期決算説明会	日本証券アナリスト協会会議室 (東京)	済
2008年8月2日	個人投資家向け会社説明会	丸ビルコンファレンススクエア (東京)	済
2008年10月31日	2009年3月期第2四半期業績開示		済
2008年11月6日	2009年3月期第2四半期決算説明会	日本証券アナリスト協会会議室 (東京)	
2008年11月8日	個人投資家向け懇談会	コンラッドホテル東京	
2008年11月15日	個人投資家向け懇談会	ザ・リッツ・カールトン大阪	
2009年1月31日	2009年3月期第3四半期業績開示		
2009年2月上旬	2009年3月期第3四半期決算説明会	東京	
2009年2月上旬	個人投資家向け会社説明会	東京or大阪	



当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、転送等をおこなわれぬようお願いいたします。

### 本資料に関するお問い合わせ

株式会社アテクト 管理ディヴィジョン IR担当

TEL : 072-967-7000

E-mail : ir@atect.co.jp